越谷市
市民活動支援センター機関紙
vol.01 創刊号
2012年12月
発行元：越谷市市民活動支援センター　〒343-0816 埼玉県越谷市弥生町16−1 越谷ツインシティBシティ5階　URL http://koshigaya-activity-support.info/

越谷新時代にスクラム

越谷市の表玄関・越谷駅東口が生まれ変わりました。地元の人たちの「今、変わらなければ」の強い思いで、開発計画が立ち上がり、約22年がかりで実りました。29階建て高層マンションと商業棟のAシティと、公共施設などが入った5階建てBシティから構成される「越谷ツインシティ」は、人と地域、そして行政の協働で、新しいまちづくりの拠点としての役割が期待されています。同市の中心市街地活性化は、これから、越谷駅東口を拠点に点から面へと大きく拡がって行くはずです。

5年ぶりの越ヶ谷秋まつり。越谷ツインシティ前から8台の山車が越ヶ谷宿へ。あの日の賑わい復活を込め…
〔越谷市出羽写真クラブ、福嶌　皜さん撮影〕

越谷ツインシティが拠点
協働をつなぐ市民活動支援センター

同市には、NPO法人いわゆる特定非営利活動促進法（NPO法）に基づく団体が61団体（11月現在）と県東部6市1町では最も多く、6月オープンの市民活動支援センターには11月末現在、63団体が登録され、うち16団体がNPO法人です。

センターでは、それぞれの団体の自主的事業はもちろん、各団体と連携した講座や研修など、様々な活動をお手伝いし、その情報発信にも積極的に取り組んでおります。

さて、10月6、7日に5年ぶりの「越ヶ谷秋まつり」が行われました。越谷ツインシティ前のロータリーに8台の山車がそろい、まちの再生に車輪を響かせ、旧日光街道を勇壮に練り歩きました。

5年前の秋まつり後、年番を引き継いだ弥生町の青年会長、南憲さんは「子どもたちに郷土の伝統をしっかりと引き継ぎ、活気あるまちを見せてやりたい」と実行委員会を作り、仲間と思いを共有して準備を進めてきました。「やっぱり、越ヶ谷の秋まつりはみんな一つになれた」と、今、充実感でいっぱいです。こんな人たちの笑顔がある限り、越ヶ谷宿の再生に希望が灯り続けているはずです。

主な内容
子育て特集　地域ではぐくむ　2,3面
■コラム　市民活動の種……………………3面
■観光物産　いちご焼き菓子………………4面
■登録団体代表のひと言……………………4面

越谷駅前 歩廊が結ぶみんなのまち
東武スカイツリーライン元年

東武スカイツリーライン元年と歩調を合わせて越谷駅東口も装いを一新しました。都市計画道路やバスターミナル、タクシー乗り場、一般車ロータリーなど、広く快適に整備されました。

越谷ツインシティBシティ5階の市民活動支援センターから、越谷駅と東武線特急「スペーシア」の走る姿、その向こう側には東京スカイツリーがくっきりと浮かんで見ることが出来、早くもスカイツリー展望の〝名所〟として、市民の皆さんから親しまれています。

写真の手前には越谷駅とツインシティを結ぶ「歩廊」が写っています。まさしく、新しい越谷へと歩みだす渡り廊下のようではありませんか。行き交う市民たちの姿を目にすると、「今、まちは動いている」と実感するのです。その未来を創出するのは人々の英知であり、地域ぐるみの協働なのです。

越谷駅の向こうに東京スカイツリー。手前の「歩廊」の先に、きっと未来が広がる…
〔福嶌　皜さん撮影〕

越ヶ谷宿再生へ

話そう～市長とふれあいミーティング
「越谷駅周辺の中心市街地活性化に向けて」

7月、越谷市で開かれた「第1回日光街道宿場町サミット」を、市や各団体と連携して成功に導いた「越ヶ谷宿」の若手経営者たちは、越谷駅東口再開発の完成を機に「今こそ、街に活気を取り戻すチャンス」と、様々な取り組みを始めています。250年の歴史を持つ老舗・釘清商店の八代目、井橋潤さんは他市の活性化先進地を視察して、「越ヶ谷宿」に強い危機感を抱きました。「安心、安全の住みやすいまちづくりで、にぎわいを復活しなければ、ここだけが取り残されてしまう」と、再生への道を模索しています。

11月には日光市で「日光歴史街道活性化　首長サミット」が開かれました。旧日光街道宿場町の各自治体が、それぞれの歴史や文化、街並みなどの観光資源を線でつなぎ、持続的な活性化を進めてゆく目的です。越谷市の高橋努市長らが発起人となり、今後、各自治体が地元の民間団体を主体として「活性化協議会（仮称）」の設立を目指し、日光街道のブランド力を高め、連携して観光客を誘致する共同宣言を行いました。

現在、街道沿いに約20戸の古民家や「蔵」が残っており、地元からは喫茶店やギャラリーなど癒しの場への活用が提案されています。高橋市長＝写真＝も、10月25日の「ふれあいミーティング」で、行政主導でなく地元との協働の必要性を強調。来春の策定を目指す景観条例などにより、越ヶ谷宿の歴史的景観を活かしたまちづくりを進め、越ヶ谷宿再生を支援してゆく方針を説明しました。

次回発行は来年3月

観光物産情報
越谷産いちごで焼き菓子

旬を丸ごとパクリ

越谷市は都心から近く、水と緑に恵まれた自然豊かな地理的条件を活かし、農業と観光を結ぶ都市型農業に取り組んでいます。その代表がいちご観光農園なのです。

今回紹介する、市立病院前の洋菓子店「パティスリー・カペル」（植原宗光さん＝写真＝経営）は、市内の観光農園で栽培された越谷産いちごを使った焼き菓子を今年3月1日から販売開始。7月に「こしがやブランド品」に認定され、早くも新しい越谷の特産品として評判を呼んでいます。

早くも人気急上昇

アーモンド生地に越谷産いちごのバタークリームをサンドした「こしがや苺いち笑（いちごいちえ）」、アーモンドシナモンの生地に越谷産いちごジャムをたっぷりのせた「越谷いちごの森」。創造性に満ちたネーミングも素敵ですが、もちろん、見た目も味も抜群です（年末のいちごの収穫期まで「越谷いちごの森」は生産休止）。同じく「越谷いちごの生キャラメル」（ブランド認定・楽農三恵園製造）も、同店のほか越谷駅東口高架下の市物産展示場などでも販売しており、なかなかの好評です。

〈店主からのメッセージ〉

いちごは生で食べるイメージが強いですが、日持ちのするいちごの焼き菓子を2種類作っています。丸ごと冷凍するほか、ピューレやジャムに加工して、年間を通して越谷産いちごが使えます。生産者の顔がみえ、旬の新鮮で安心ないちごを使える、地産地消の良さを生かしたケーキづくりを、これからも続けていきたいもの。収穫状況によりますが、クリスマスケーキも朝どりの新鮮ないちごを使い、箱を開けた時甘酸っぱいいちごの香りを、みなさんに十分楽しんでいただきたいと思っています。

＝「パティスリー・カペル」さんは1998年開店。ご夫婦で店を切り盛りをされる微笑ましい姿も、ケーキ屋さんにぴったりです＝

問い合わせ先
パティスリー・カペル
越谷市東越谷9－42－1
TEL 048－965－1100
営業時間 6月～9月 9時～19時
10月～5月 10時～19時半
定休日：月曜日

こしがや苺いち笑

越谷いちごの生キャラメル

越谷いちごの森

登録団体一覧表

2012年11月末現在

1	越谷国際交流サークル	33	特定非営利活動法人 ファミリーリンク越谷
2	生涯青春 東彩会	34	特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター越谷事務所
3	リフォームの会 かざぐるま	35	特定非営利活動法人 子育てサポーター・チャオ
4	めぐり教育研究舎	36	越谷市国際交流協会
5	一歩会	37	KSB7
6	NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター	38	ファミリーソングライターズクラブ
7	越谷市立消費生活センター連絡協議会	39	越谷にプレーパークをつくる会
8	レディースの集い	40	誰もがくらしやすいまちづくり実行委員会
9	越谷市レクリエーション指導者協議会	41	特定非営利活動法人 視覚障がい者支援協会･ひかりの森
10	越谷介護保険サポーターズクラブ	42	一般社団法人 埼玉県マンション管理士会東ブロック
11	新日本婦人の会 越谷支部	43	子ども会指導者クラブ｢フレンズ｣
12	PC研究会	44	あいのみ文庫
13	花こばと会	45	特定非営利活動法人 わぁくらいふさぽーたー
14	特定非営利活動法人 クリーンアップこしがや	46	越谷市婦人フォークダンス連盟
15	ぐらーじゅ	47	越谷市青少年相談員協議会
16	多文化こども学習塾	48	越谷市政モニターOB会
17	こしがや地域ネットワーク13	49	特定非営利活動法人 越谷成年後見支援センター
18	越谷レイクタウンふるさとプロジェクト	50	美育ボランティアこしがや
19	特定非営利活動法人 越谷市生涯学習民間ネットワーク協会	51	越谷市PTA連合会
20	こしがや男女共同参画の会｢パティオ｣	52	越谷おもちゃの病院
21	CAP東埼玉	53	特定非営利活動法人 たすけあい すぎな
22	特定非営利活動法人 子育て支援ワーカーズコレクティブみるく	54	特定非営利活動法人 地域活性化センター
23	特定非営利活動法人 越谷カウンセル	55	草加友の会 越谷支部
24	しゃけのこいくら会	56	スマイル
25	ロービジョン友の会アリス	57	越谷子育てサークルネットワークの会
26	サンシティ朗読研究会	58	越谷市障害者計画を推進する会
27	特定非営利活動法人 合	59	縁の下の力もち
28	越谷ビデオクラブ	60	特定非営利活動法人 男女共同参画こしがやともろう
29	フリースペース｢こしがや絵本館｣	61	埼玉県年金受給者協会 越谷分会
30	市民活動つなげる会･越谷	62	越谷市私立保育園協会
31	越谷市ボランティア連絡会	63	越谷ミズの会
32	特定非営利活動法人 越谷市郷土研究会		

団体代表ひと言コメント
（登録団体代表と支援センター所長による面談より）

PC研究会
12月より支援センターにてパソコン無料相談をはじめます。（代表・荻谷さん）

越谷市立消費生活センター連絡協議会
30年間の活動の出発点は「食の安全」だが、ここ最近は放射能の問題についても、市民の方と一緒に考え取り組んでいます。（代表・川瀬さん）

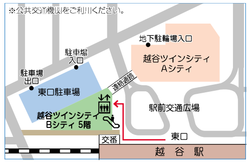
NPO法人　越谷市住まい・まちづくりセンター
住まい・まちなみに関するまちづくり支援活動を行っています。（代表・若色さん）

特定非営利活動法人　越谷市郷土研究会
研究だけではなく、歴史の面白さや越谷の文化財、自然植物などを市民の方々に知っていただこうと思っています。（代表・宮川さん）

サンシティ朗読研究会
朗読の場づくりの為に毎月一回朗読の先生を招いて勉強会をしています。（代表・大岩さん）

レディースの集い
手芸教室、料理教室、チャリティーコンサート、お茶会等その他に講師を招き勉強会を開いていますのでご参加ください。（代表・安嶋さん）

越谷市市民活動支援センター利用案内とアクセスマップ



越谷市市民活動支援センターとは？
平成24年6月1日にオープンしたNPOをはじめとする公益活動をする市民や団体、ボランティア等の活動を支援する拠点施設です

東武スカイツリーライン越谷駅下車、東口徒歩1分
駐車場:東口駐車場（有料）･駐輪場:Aシティ地下（2時間迄無料）

越谷市市民活動支援センター　検索

所在地　〒343-0816　埼玉県越谷市弥生町16-1
越谷ツインシティBシティ4階、5階
電話　市民活動支援センター TEL.048-969-2750 FAX.048-969-2751
観光･物産情報コーナー TEL.048-969-1819 FAX.048-969-2752
中央図書室 TEL.048-969-1800
E-mail　info@koshigaya-activity-support.info
HP　http://koshigaya-activity-support.info/
利用時間　市民活動支援センター 午前9時～午後9時30分
観光･物産情報コーナー 午前9時～午後9時30分
中央図書室 午前9時30分～午後9時30分
休所日　市民活動支援センター 12月29日～31日、1月1日～3日
観光･物産情報コーナー 12月29日～31日、1月1日～3日
中央図書室 12月29日～31日、1月1日～4日
※蔵書点検日、休室日別途あります。

編集後記

◆1面を飾った越ヶ谷秋まつりの山車、そして越谷駅東口から伸びる歩廊と東京スカイツリーの2枚の写真は、当センター登録団体である越谷ビデオクラブさんにお願いした。会員の福嶌さんが、何日もツインシティB5階の当センターへ足を運び、光や雲、人の動き、そして東武特急「スペーシア号」の通過時間まで調査して撮影した見事な力作である。越谷市民の底力に感謝がいっぱいだ。（芳野）

◆創刊号は地域コミュニティと子育てを特集テーマに取材をスタート。日ごろ登録団体さんとは、支援センターでお会いする事が多いのですが、実際の活動現場にお邪魔してみると、みなさん生き生きと活動されていて、インタビューでは活動に対する熱い思いを聞くことができ、とても感動しました。すばらしい活動、より多くの方に知って頂きたいですね。（本多）

当センター機関紙の主な配布先のご案内

配布先施設名　北部出張所／南部出張所／産業支援課／中央市民会館／北部市民会館／サンシティ越谷市民ホール／男女参画支援センター（ほっと越谷）／千間台記念会館／ボランティアセンター／各地区センター・公民館／各交流館／越谷市市民活動支援センター・中央図書室（順不同）

配布協力場所募集しています。

施設・事務所に機関紙を置いていただけませんか…。

年3回発行、本紙・送料は無料です。配布にご協力頂ける方は、越谷市市民活動支援センターまでお問い合わせください。

TEL 048－969－2750

本紙は、越谷市市民活動支援センター登録団体に撮影・執筆のご協力をいただき、編集・発行を行っております。

特集「地域ではぐくむ」

ご近所の関わり合いが希薄になりつつある今だからこそ、地域全体がつながりをもって子どもたちの成長をサポートしよう。気軽に交流をはかれる場の提供や、異世代間のふれあいの場を増やしていこう。そんなあたたかい場の提供や、地域に根付いた活動を続けている越谷市民活動支援センターの登録団体を３つご紹介します。

公園広場の様子
写真提供　特定非営利活動法人ファミリーリンク越谷

特定非営利活動法人　ファミリーリンク越谷

「子育ての大変さを認め合い、一人ぼっちをなくしていきたい」

代表　出村常子さん

■活動の目的

異世代の関わり合い、地域ぐるみで繋がって学び合い育ち合いを通して、子育て中の家庭に支援活動を広く行い、家庭教育の充実と、子どもたちが安心していろいろな体験を通して、心豊かに育つことが保障される地域社会の実現に寄与することを目的に活動しています。

■会員の思い

子どもを安心して育てられる環境や、子どもが愛されて育つことは私達の願いです。子ども一人ひとりの健やかな育ちを大切にしながら、子育てには仲間が必要！子どもには楽しい親子の関わりが必要！子どもたちには体験を通していろいろなことを学び体得して行って欲しい！子どもも大人も人と関わって行くことが生きていく力！大人だって楽しいことが必要！一人ぼっちをつくらない等の思いを持って活動しています。

団体立ち上げのきっかけは何ですか？

公園デビューが、一部のママ達にとって大変だという話題がニュースでも取り上げられていた時期を前後して、埼玉県の子育てアドバイザー（現・家庭教育アドバイザー）になったのを機会に、平成16年、公園でポツンとしているママ達をつないであげたいと仲間三人で支援サークルを立ち上げ『公園ひろば』を始めたのがきっかけでした。そこから越谷市の児童審議委員会委員になり、次世代育成後期行動計画作業部会長を務めるなかで、やってもらうばかりではなく、自分達でも出来ることもあるのではと思ったのと同時に進めてくれる人や一緒にやろうと言ってくれる仲間もいて立ち上げることになったのです。

活動を続ける原動力は何ですか？

私は子育て中、近くに身内がいなく大変苦労をした反面、周りの同世代や年上の人に助けてもらって乗り越えられたので、ママ達の辛さがわかるんです。同じ思いをしているママを助けてあげたい気持ちが活動の原動力ですね。また、今も良い仲間に助けられているのと、いろいろな繋がりがだんだん広がって行くことが楽しいですね。私の父も子どもたちに読み聞かせをしたり、人形劇をしたりと同じようなことをやっていたので、それを受け継いでいるんだと思います。

子育ての現状について？

育メンパパが増えてきたといいますが、まだまだ一部ですね。「パパがもう少し子育てに参加してくれたらいいのに」という声をたくさん聞きます。子育て世代のパパは夜遅くまで働いて育児に参加できないのが現状ですし、子育て家族の形態は変化しています。子育ては人育てです。長い時間かかります。情報があふれ多様化しています。一人の力では賄いきれません。得意、不得意もあります。家族みんなで力を合わせて育んで欲しい。いろいろなところと繋がって育んで欲しいです。

①ベビーマッサージで親子のスキンシップ
②タオルブランコにゆられてご機嫌

今後の活動について

いっぱいありますね。みんなに出村さんいつまで働くの？って言われますけれど、子育て中のママ達は、些細なことで足踏みしているところがあります。ママ同士を繋げていき、お互いの悩みや子育て方法を出し合って、気づきあい、助け合いをして欲しいと思っています。また、子どもたちにもいろいろな人との関わりや体験を通して、成長して行って欲しいと思っています。その為には、異世代や地域の人が繋がって関わり合うことが必要不可欠です。「一日子ども商店街」の年1回の事業も「親子講座」や「百人一首を楽しむ会」「物語かたり塾」もその一つです。どの年代も、楽しく関わり合うことが心も身体も元気に成長する力になる事だと思っています。また、これからの活動を広げていくために、拠点となる場所の確保に努めて行きたいと思っています。

連絡先

特定非営利活動法人ファミリーリンク越谷
〒343-0838　越谷市蒲生 3832－14
TEL 048-988-3677　FAX 048-988-3677
Eメール　sttkq578@ybb.ne.jp
HP　http://www.familylink-koshigaya.org/

CAP東埼玉

「どの子どもも自分を守る力を持っている」

代表　栗田みえ子さん

■団体紹介

CAP東埼玉はCAP（暴力から子どもたちを守るための防止プログラム）を提供している団体です。幼稚園、保育園、小学校、中学校などでワークショップ（参加型学習）形式で実施しています。

■会の目的

暴力のない社会づくりと、子どもが健やかに育つ地域づくりを目的に2002年度から活動しています。

■活動場所

幼稚園、保育園、小学校、中学校などでプログラムを提供。また社会福祉協議会、要保護児童対策地域協議会等からの依頼、保育士研修等も行っています。

活動のきっかけは何ですか？

「子どものためになる活動がしたい」というシンプルな思いが活動のきっかけでした。他のスタッフも同じように子どもたちに関わりたいと思って始めたようです。参加して頂いた皆さんには、元気になって帰って頂きたいという思いでワークショップを行っています。

活動を通して何を伝えたいですか？

問題を解決する力は子どもたち自身が持っています。ですから大人の方には、子どもを支える一人になって欲しいです。また子どもたちには、3つの権利「安心」「自信」「自由」について知ってもらい、「自分を大切に思っていいんだよ、守っていいんだよ」ということを伝えたいです。

参加者からどのような反応がありますか？

大人の方からは、「聞いてよかった」「多くの方に参加してほしいと思った」というお声を頂きます。子どもたちからは、「自分の気持ちを話していいんだと思った」「外で怖い思いをしても、どうしたらよいかがわかった」「鉛筆のキャップが鉛筆を守っているようにCAPも僕たちを守ってくれているんだと思った」といろんな感想をもらいます。

今後目指すものはありますか？

活動10年目を迎えて、初心に戻って丁寧にワークショップを続けていきたいと思っています。

CAP
子どもが暴力から自分を守る方法
けんり
安心
自信
いやだ！
①

CAP
Child Assault Prevention
CAP
東埼玉
②

子どもへの暴力防止プログラム
家庭
学校
地域
③

①「安心・自信・自由」
②③ワークショップの様子

連絡先

CAP東埼玉
TEL 090-6177-6858　FAX 048-978-8635
Eメール　higashi-saitama.1997@ezweb.ne.jp
HP　http://www.cap-higashisaitama.org/

フリースペース「こしがや絵本館」

「地域の皆さんにとって身近な寄り所となっていきたい」

代表　植田惠子さん

■活動取材

フリースペース「こしがや絵本館」主催、赤ちゃんをひざでゆらしながら、家族で、仲間で「くつろぎのコンサート」にお邪魔しました。参加した子どもたちは座布団や、お母さんのひざに座って聞いたり、体を揺らして踊ってみたりと、バイオリンが奏でる音色を思い思いに楽しんでいました。

「ここに来るとホッとするから、また来たくなるんですよね」という参加者のお声の通り、歩ける距離にある街かどのギャラリー、ミニ図書館、コミュニティカフェとして福祉・文化の発信をしているようです。

バイオリンコンサートの様子(上)

展示・委託販売コーナー(上・右)

活動のきっかけは何ですか？

「仲間が集まれるたまり場が欲しいよね」という話になったのがきっかけでした。

赤ちゃんからお年寄りまで世代を超えて交流の場になればいいなぁと思い始めたんです。

どのように本選びをされているんですか？

赤ちゃん向けの絵本から、大人の方の本までたくさんありますが、自分達が面白いと思えるものを置くようにしています。図書館等にはないような、絵本館らしい個性のある本を選ぶようにしています。絵本でも大人が感動するような物もあるんですよ。時には旅先のおみやげを寄贈してくださったりするので、日本では手に入らないような海外の書籍もあります。

書籍も電子化が進んでいますが、やはり紙の質感だったりインクの匂いって、電子化では伝わらないですから、大切にしたいですね。

どんな場所でありたいですか？

「ずーっとやってね」の声に励まされて生涯現役で健康に頑張れたら、できれば次の世代にもいろんな形でつないでいきたいと思います。

連絡先

フリースペース「こしがや絵本館」
〒343-0807　越谷市赤山町 1-42-9
TEL 048-966-1002　FAX 048-966-1002
開館時間　11：00～18：00
休 館 日　水曜・日曜・祝日
HP　http://www.geocities.jp/koshigayaehonkan/

市民活動の種

後継者育成への取組み

特定非営利活動法人
子育てサポーター・チャオ
代表　近澤　恵美子さん

「男女共生のまちづくり推進市民会議」で越谷市の子育てに関する調査研究を行ったことをきっかけに、全国初の『子育てサポーター養成講座』を開催し平成8年4月に子育て支援サークルとして発足。平成14年10月にNPO法人となりました。

【活動の目的】子育てが楽しめる環境をつくること。そのために①子育てについて学ぶ場の提供②仲間づくりのための場の提供③子連れで社会参加できる場の提供を活動の柱としています。この16年間で活動の幅は広がり、活動内容もすこしずつ変化しています。

団体運営において陥りがちな問題点は多々ありますが、その中の〈後継者育成〉の工夫についてご紹介します。新規入会を増やすために、現役親子サークルの方たちには卒業時に声をかける。チャオの活動紹介をかねて、年1回サポーター養成講座を開催しています。研修の充実も心がけ、子育て支援者向け講座を助成金で開催しています。これは、チャオ会員の研修とともに、会員外の方々や子育て支援に関わる方への発信でもあります。月1回のミーティングでは、短時間研修の時間を設けていますし、メーリングリスト（メール配信）を活用して、外部の研修も案内、希望者は参加できるようにしています。チャオには、現在4つの部があり、全員がどこかに属しています。それぞれの部には、理事が相談役でついていて、各部で年間予定や予算をたてたり、企画運営会議をしています。これにより、みんなで考えあう体制や、新しい人が部長となるので、ステップアップの機会となっています。

チャオは、日々の活動の中から課題をみつけてさまざまな助成金事業を行ってきました。特に、「子どもの安全カルタ」「育休&仕事復帰ガイドブック」作成、「企業でのペアレンティングセミナー（父親セミナー）」は、先駆的な活動として評価されました。これからも、「チャオが大好き」と言ってくれる仲間とともに、前進していきたいと思っています。

中央図書室より所蔵本のご案内

子育てって大変…。みんなこんな時どうしてるの…。そんな子育ての悩みを解決してくれるヒントがいっぱいです。

「育児のお悩み解決BOOK」

監　修　加部一彦、佐々木聡子
発行所　日本放送出版協会

子育てはマニュアルどおりにはいかず、日ごろから赤ちゃんをしっかり見て対応することが重要とされています。そのポイントをおさえ、子育てを応援するためのお悩み解決方法がわかりやすくまとめられた1冊です。0か月から3歳までの育児についてQ&Aでこたえてくれます。

育児のお悩み解決BOOK

「もうだめ…私、子育てでつぶれそう！」

著　者　田熊喜代巳
発行所　本の泉社

2万人以上の母親たちの声をきき続けてきたカウンセラーである著者が、子育ての大変さに苦しむ母親たちの声を伝え、彼女たちを支えるメッセージを送ります。真に母親の立場に立つための支援とは何か、お母さんを囲む周りの方々へのヒントとなることばがちりばめられています。

もうだめ…私、子育てでつぶれそう！